高等法院一般部

Dr Alexander Ressos, TEP
Attorney-at-Law (Switzerland and Germany),
Solicitor (England & Wales and Hong Kong)
Of Counsel, KGP Legal LLC
alexander.ressos@kgplegal.com.sg
www.ressos.com.sg

外国の被告に対する管轄権

高等法院一般部は、シンガポールで送達を受けた被告、または管轄に服した被告に対して管轄権を有します。外国の被告については、原告は2021年裁判所規則（Rules of Court 2021）第8号命令に基づく国外送達の許可を得る必要があります。2021年以降、この規則が求めるのは、裁判所が最高裁判所法（Supreme Court of Judicature Act）の下で管轄権を有するか適切な裁判所であること、そしてシンガポールが適切な法廷地であることだけです。従来の「ゲートウェイ」は考慮要素へと格下げされました。原告は、シンガポールが適切な法廷地であることについて十分に主張可能な事案であることを示し、全面的な開示を行わなければなりません。[1] 暗号資産の事件で通常問題となる関連は、原告がシンガポールにいてそこで損失を被ったこと、資産を保有する取引所がシンガポールにあること、あるいは契約がシンガポール法を準拠法としていることです。

裁判所はこれに前向きでした。*Janesh*事件で裁判所は、原告がシンガポールを拠点とし、そこで事業を営んでいることから、シンガポールを適切な法廷地と認めました。同時に、ブロックチェーンの分散的な性質により、

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

紛争の所在を特定するのは難しいことも認めています。[2] *CLM v CLN*事件では、取引所の開示によって特定された複数の国の被告に対して国外送達の許可が与えられました。[3] トークン取引をめぐってシンガポールで訴えられたスイスの被告は、取引の実質的な要素が一つでもシンガポールに関わっていれば、シンガポールの裁判所が管轄権を認めると考えるべきです。法廷地に関する異議は、最初の機会に提起すべきです。手続上の行為を行えば、管轄に服したことになるからです。

2021年裁判所規則とデジタルアセット

2022年4月1日に施行された2021年裁判所規則は、2014年規則に代わり、早期の司法による管理、本案審理までの単一の申立て、そして比例的な文書提出を軸とする手続を導入しました。デジタルアセット訴訟にとって重要な特徴は三つあります。第一に、第22号命令に基づく執行命令の発令権限は暗号資産にも及びます。規則は暗号資産を財産の一形態として明記しており、*ByBit*判決もこの点に依拠しました。[4] 第二に、第11号命令に基づく文書提出は、当事者が依拠する文書と特定して求められた文書に限られます。そのため、被告のウォレット履歴を求める原告は、それを正確に特定して求めなければなりません。第三に、第3号命令第1規則の「理念（Ideals）」は、当事者のニーズに適した公正で実際的な結果を実現するよう裁判所に求めています。暗号資産の事件では、代替送達や氏名不詳者に対する請求を正当化するためにこの理念が援用されてきました。[5]

ウォレットデータの開示

ウォレットデータは、訴訟において二重の性格を持ちます。公開台帳は誰でも利用できるため、裁判所はブロックエクスプローラーが示す内容を顕著な事実として扱います。ただし、アドレスの帰属は立証が必要です。アドレスと人物の結び付きは非公開であり、取引所、ウォレットソフトウェアの提供者、そして本人が保有しています。当事者自身のウォレットアドレスと支配を証明する鍵は、文書提出制度の対象となる文書です。自らが

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

支配するアドレスの開示を拒む当事者や、鍵を紛失したと主張する当事者は、不利な推認を受けます。裁判所の命令が開示を強制している場合には、法廷侮辱の責任を問われます。シンガポールの裁判所は、被告に対し、支配するすべてのウォレットを列挙し、支配を証明する署名付きメッセージを提出するよう命じてきました。これは、マレーバ手続における宣誓による資産開示のオンチェーン版に当たります。

第三者のウォレットデータは、第III章で述べたBankers TrustおよびNorwich Pharmacalの手続、または第11号命令第11規則に基づく提訴前の文書提出によって取得します。同規則により、申立人が、提訴するかどうか、誰を訴えるかを判断するために文書が必要であることを示した場合、裁判所は非当事者に文書の提出を命じることができます。[6] 2012年個人情報保護法（Personal Data Protection Act 2012）は、裁判所の命令に基づく開示を妨げません。同法の例外は、法律により求められる開示と訴訟手続のための開示を対象としているからです。

専門家証拠

デジタルアセットの事件では、ほぼ常に二つの事項について専門家証拠が必要になります。台帳上の資産の追跡と、問題となるプロトコルまたはプラットフォームの技術的な仕組みです。2021年裁判所規則第12号命令は、専門家証拠に対する管理権限を裁判所に与えています。これには、単一の共同専門家を求める権限や、専門家証拠を提出できる争点を限定する権限が含まれます。専門家証拠には事前に裁判所の承認が必要です。定評あるベンダーのブロックチェーン分析レポートは、仮処分の段階では問題なく受け入れられてきました。本案審理では、帰属の方法論、アドレスを単一の所有者に結び付けるクラスタリングのヒューリスティック、そしてミキサーの扱いが反対尋問の対象となります。資力のある被告はこれらを攻撃してきます。弁護士は早期に分析の専門家に依頼し、レポートが台帳の示す事実と専門家の推論とを区別するようにすべきです。

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

実務上の注意

シンガポールの手続のためにブロックチェーン分析の専門家に依頼するときは、三つのことを求めてください。第一に、公開台帳と取引所の開示からデータをどのように取得したかを示す管理の連鎖（chain of custody）に関する陳述です。これにより、レポートは追加の立証なしに証拠として採用されます。第二に、決定論的な追跡（このアウトプットがあのインプットの原資となった）と確率的な帰属（これらのアドレスはおそらく一つのウォレットである）の明確な区別です。裁判所はこの二つに異なる重みを与えるからです。第三に、裁判官が用語集なしで読める平易な言葉の部分です。シンガポールの裁判官は高度な知識を備えていますが、UTXO会計の知識を前提とするレポートは容赦しません。

訴訟費用

シンガポールでは訴訟費用は勝敗に従って負担され、標準基準で査定されます。通常、実際の支出の3分の1から3分の2が回収されます。最高裁判所の実務指針（Practice Directions）付録Gの費用ガイドラインは、高等法院一般部における当事者間の費用について幅を示しています。例えば、争いのある仮差止命令の申立てについては2万〜4万シンガポールドル、複雑な商事事件については本案審理1日当たり6万〜18万シンガポールドルです。ただし、この幅は改訂されることがあり、裁判所がこれから離れることもあります。[7] *ByBit*型のサマリー・ジャッジメントを得た原告が回収する費用と実費は4万5,000〜6万シンガポールドル程度であり、実際の支出のごく一部にすぎません。[8] スイスの会社を含む外国の原告に対しては、第9号命令第12規則に基づき訴訟費用の担保が命じられることがあります。これは、シンガポールで訴えを提起するツークの事業体に対して被告側がよく行う申立てです。

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

注

1. Rules of Court 2021, O 8 r 1, Singapore Statutes Online; Supreme Court of Judicature Act 1969, s 16. ↩
2. Janesh s/o Rajkumar v Unknown Person [2022] SGHC 264。管轄権と適切な法廷地について。 ↩
3. CLM v CLN [2022] SGHC 46 at [61]–[75]. ↩
4. ByBit Fintech Ltd v Ho Kai Xin [2023] SGHC 199 at [30]。Rules of Court 2021第22号命令第1規則第1項に言及している。 ↩
5. Janesh [2022] SGHC 264 at [37]–[42] and [86]–[91]。Rules of Court 2021と国外への代替送達について。 ↩
6. Rules of Court 2021, O 11 r 11（提訴前および非当事者に対する文書提出）、Singapore Statutes Online. ↩
7. Supreme Court Practice Directions 2021, Appendix G (Guidelines for Party-and-Party Costs Awards in the Supreme Court of Singapore). ↩
8. ByBit Fintech Ltd v Ho Kai Xin [2023] SGHC 199 at [47]。訴訟費用4万5,000シンガポールドルおよび実費1万1,500シンガポールドル。 ↩

Disclaimer

This article is provided for general information only. It is based on publicly available sources as at its date of publication. These sources have not been independently verified against licences, regulatory registers or the records of the entities concerned. It is not legal, tax, financial or investment advice. Nor is it a recommendation to invest in, transact with or use the services of any entity mentioned. Law and regulation change frequently, so the content may be incomplete or outdated. To the fullest extent permitted by law, Dr Alexander Ressos and the publisher of SingaporeIQ exclude all liability for loss or damage arising from the use of or reliance on this article. Readers should obtain advice on their specific circumstances before acting or refraining from action.

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

Names and trademarks of the entities discussed belong to their owners and are used for identification only. Their mention implies no endorsement, affiliation or allegation of wrongdoing. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. Corrections and updates: contact@ressos.com.

© 2026 Dr Alexander Ressos. This article may be quoted with attribution to SingaporeIQ (SingaporeIQ.com). Reproduction in full and any commercial use require prior written consent. The Legal Terms at https://singaporeiq.com/legal-terms apply.

Author contact: Dr Alexander Ressos, TEP · contact@ressos.com

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.